

のぼりべつ 社協 だより

noboribetsu shakyo



特集 市民に愛されて20年
ファミリーサポートセンター

第31回鷲別納涼夏祭りにて行われた「赤い羽根共同募金 イベント募金」の様子。
子どもからお年寄りまで幅広く、赤い羽根に協力いただいています。

CONTENTS

- P2 特集 市民に愛されて20年 ファミリーサポートセンター
- P4 歳末たすけあい募金が始まります
- P6 きすなかわら版
- P8 小地域ネットワーク活動全市展開に向け推進中!



2016
11.01

No.

128

【発行】 社会福祉法人 登別市社会福祉協議会

【事務局】 登別市片倉町 6-9-1 登別市総合福祉センターしんた 21 内

【TEL】 0143-88-0860

【FAX】 0143-88-4546

【mail】 info@kizuna-shakyo.jp

【HP】 <http://kizuna-shakyo.jp/>



特集

市民に愛されて20年

ファミリーサポートセンター

ファミリーサポートセンターとは…

ファミリーサポートセンターは、子育てを手伝ってほしい方と支援していただける方が会員となつて、地域全体で子育てを応援する事業です。その活動は、お子さんの「安全」を支え、同時にお母さん・お父さんの「元氣」と「安心」を支えます。登別に住むすべての親子が、安心して子育てができるように、地域で見守り、応援します。

登別市ファミリーサポートセンターの概要

平成8年8月、北海道内で初、全国では8番目のセンターとして設立され、今年度設立20周年を迎えました。市の委託を受けて社協が運営し、会員の入会手続きや託児依頼のコーディネートなど、会員同士を結びつける橋渡しをしています。

また、各地域での調整役として、中学校区を目安に5名のサプリーダーを配置しています。

しくみ

依頼会員からの相談を受け、要望をよく聞いたうえで、適任の提供会員をご紹介します。依頼のコーディネートでは、時間や場所などの条件だけではなく、お子さんの性格や生育状況、

既往症やアレルギーの有無なども考慮し、きめ細やかに調整します。

支援の内容

- ・ 保育施設の保育開始前や保育終了後、お子さんをお預かりします。
 - ・ 保育施設や習い事の送迎を行います。
 - ・ 学校の放課後や休みの際に、お子さんをお預かりします。
 - ・ お子さんの幼稚園・学校行事の間、他のお子さんをお預かりします。
 - ・ 保護者の病氣や通院、冠婚葬祭や就職活動などの際に、お子さんをお預かりします。
 - ・ その他、お買い物やリフレッシュなど、自身の時間をもつためにもご利用できます。
- ※原則として、提供会員のご自宅でお預かりします。

会員の種類

- ・ **依頼会員**…お子さんを預かってほしい方、子育ての支援をしてほしい方
- ・ **提供会員**…子どもが大好きな方、誰かの役に立ちたい方、子育てのお手伝いをしてくださる方
- ・ **両方会員**…お子さんを預けたり、他のお子さんを預かったりできる方

全会員を募集していますので、お気軽にお問合せください。
 ※特にご利用の予定がなくても登録できます。
 ※入会に伴う会費は必要ありません。



依頼会員の声



依頼会員
塚崎さちえさん

娘が生まれ、自分自身の仕事との両立も必要だったため平成26年に依頼会員として登録しました。私も夫も近くに親戚がおらず、保育所に預けるよりも家庭的な環境で子育てを行いたかったため、とても助かっています。最初は1時間くらいと短い時間預けていましたが、普段子育てをしていると1時間1人でいることも難しいので、それが気軽にできる環境はほかにはないと思います。娘も3歳になりましたが、今でも仕事や通院などがあると2時間くらい利用しています。

友人の中にも、登別に頼れる親戚がなく、1人で抱え込んでいる人や、人に預けることで、子どもが泣いたり迷惑をかけたりしまつのではないかと心配して利用できない方もいます。そんな人にこそ利用を薦めたいです。センターは気軽に利用でき、提供会員さんも子育てが上手な方ばかりなので、まずは試しに利用してもらいたいと思います。



サブリーダーの声



新生地区
サブリーダー
小玉雅恵さん

自分自身の子育てに少し余裕ができたことや、社会とのかかわりを持ちたい、社会の手助けになる活動をしたなどの想いを持ち、広報でセンターの活動を知り、平成12年に提供会員として登録しました。最初は子育てのお手伝いを楽しむことよりもケガをさせないようにと必死でしたが、小さい子どもと関われる喜びや可愛さ、そして保護者からの感謝の言葉にやりがいを感じています。

サブリーダーとなって7年目になり、子ども手を離れましたが、他の提供会員さんにも力になってもらえることや、小さい子と関わることで「懐かしい」という喜びが生まれ、思いやりを持ちながら、保護者と提供会員の橋渡し役として日々活動しています。これからも、保護者の希望に合わせて利用してもらえるように、柔軟であたたかい対応を心掛けていきたいです。

他のまちの話や話を聞くと、登別のセンターの体制は整っているのだと感じます。この環境が当たり前のようを感じる私たちは幸せな環境にいるのだと思います。この活動が新しい世代へとずっと受け継がれていくことを望んでいます。

絵本パフォーマンスLIVEを開催しました！

ファミリーサポートセンターでは、毎年会員向けの講習会や交流会を実施しています。今年度は、9月30日(金)、しんた21において、ファミリーサポートセンター20周年・共同募金運動70周年記念事業として、絵本パフォーマンスの岸田典大さんによる絵本パフォーマンスLIVEを開催しました。当日は80名を超える親子が集まり、岸田さんの話す絵本の世界に引き込まれていました。

参加した親子からは「とても楽しい時間を過ごすことができました」「また絵本を見にきたい」などの声が聞かれ、会場には笑顔が溢れていました。



子育ての合間に、ほんの少しのお手伝いがあれば、時間と心にゆとりが生まれます。未来を担う子ども達が、地域のみなさまの愛情をいっぱい受けて、すこやかに成長することを願っています。

お問い合わせ

住所：登別市片倉町6丁目9-1

登別市総合福祉センターしんた21

電話：0143-85-0033

受付時間：月曜日～金曜日(祝日は除く)

午前9時～午後5時30分



歳末たすけあい運動が始まります

運動期間 12月1日～12月31日まで

あなたの募金がこのまちの福祉を支えています。
皆様のご理解とご協力をお願いします。



●歳末たすけあい運動とは？

「歳末たすけあい募金運動」は、毎年12月に共同募金運動の一環として、地域住民やボランティア、民生委員・児童委員、社会福祉施設、社会福祉協議会等の関係機関・団体の協力のもと、新たな年を迎える時期に、支援を必要としている人たちが安心して暮らすことができるよう様々な福祉活動を重点的に展開する運動です。

●募金を使った福祉活動

皆様からお寄せいただく募金は、すべて登別の福祉活動に活用されます。

◇歳末見舞金贈呈115万7千円／経済的支援が必要な世帯等へ見舞金を贈る取り組み

◇ふれあい会食会116万5千円／町内会役員と高齢者等とのつながりを深める取り組み

◇ふれあい・いきいきサロン175万5千円
／高齢者等の生きがいと居場所づくりを進める取り組み

◇小地域ネットワーク活動111万2千円／町内会による見守り・支え合い活動を広げる取り組み

◇在宅介護支援10万円／制度を利用できない人へ車いすや介護機器の貸出を行う取り組み

●募金方法

登別市共同募金委員会では、町内会のご協力のもと各世帯に歳末たすけあい運動の啓発チラシと募金用封筒を配布して協力の呼びかけを行います。11月中旬以降にご案内いたしますのでご理解とご協力をお願いいたします。

募金納入は、町内会に取りまとめの上、12月27日（火）までをお願いいたします。

●募金になぜ目標額があるの？

共同募金は、法律（社会福祉法）に位置付けられた民間の募金活動であり、事前に使いみちや集める額（目標）を定めた募金です。このまちの地域福祉活動を充実させるために、募金と助成の計画を立て、目標額を公表することも法律で義務付けられている全国的な募金運動です。

平成28年度目標額
5,500,000円
平成27年度実績額
5,248,051円



赤い羽根で繋がる やさしさの輪

登別ならではの取り組みを 始めてみませんか？

共同募金運動は、じぶんの地域をより良くしていくこととする取り組みを、活動への参加や寄付を通じて広く社会で応援して一緒に進めていく民間の運動です。

登別市内における活動への参加もさまざまで、子どもから大人まで個人、企業、団体等みなさんのできるカタチで、一緒にこのまちを想い、やさしさの輪を広げてみませんか？



市及び市議会も、赤い羽根を着用して運動の啓発をしています。「赤い羽根」は頑張っている誰かを想う、やさしさの証です。

●登別オリジナル寄付付き商品の開発！

地域の資源とコラボした、寄付金付き商品の開発や特典付き商品の製作等を行う取り組み。

今年度、「布の絵本ボランティアの会」の皆様が寄付金付き商品を製作してくれました！商品売上げの一部を「平成28年熊本地震義援金」としてお預かりしました。

「布の絵本ボランティアの会」の皆様ありがとうございました。



「ご当地キャラクター
ペンケース」を
バザーで販売
しました！

なお、熊本地震義援金は3月末日まで受付しております。

お問合せ先

登別市共同募金委員会(登別市社協内)
電話:0143-88-0860
FAX:0143-88-4546

きずな かわら版

登別の個人・団体が表彰されました！

8月27日（土）28日（日）に行われたボランティア愛ランド2016 in むろらんにおいて、地域福祉の充実を中心として、様々な形で社会福祉の向上に寄与する活動を行っているボランティア団体等を表彰する「第40回道新ボランティア奨励賞」授賞式が行われ、これまでの功績が認められ、登別市内から1団体が受賞しました。

一般奨励賞

登別市郷土資料館
ボランティアグループSLG

また、9月7日（水）に行われた、第66回北海道社会福祉大会において登別市内から2名が地域福祉功労者に贈られる「北海道社会福祉協議会会長表彰」を受賞しました。

社会福祉協議会役員功労表彰

池畠 泰彦さん

民生委員・児童委員功労表彰

萩原 純子さん



登別市郷土資料館
ボランティアグループ
SLG代表
工藤 章造さん

この度は、このような名誉ある賞をいただき、大変うれしく思います。

平成5年から活動をはじめ、今年で23年目を迎えました。物づくりを通じた体験学習や登別の文化・歴史を伝承するボランティア活動を約20名の会員とともにしています。

ボランティア活動は、必要とする誰かのために行うことももちろんですが、自らの生きがいづくりのためにも大切なことだと思います。

今回の賞を受けて、さらに身を引き締め、活動をさらにより良いものにするために、新しいことにチャレンジしながら、さらに活動の幅を広げていきたいと考えています。

町内会に 加入しましょう

町内会では、地域で暮らす皆さんの生活をより良いものにするために、これらの活動を行っています。

- ① 広報紙等の回覧や配布
- ② 防犯灯の設置および維持管理や災害に備えた防災活動、地域の民生委員・児童委員と連携した高齢者や障がい者への支援
- ③ ごみステーションの管理や花壇づくり、道路の清掃、資源回収活動
- ④ お祭り・敬老会・健康教室などの開催。
また、子ども会の組織による、青少年の健全育成
- ⑤ 町内会内の生活課題解決のために行政と連携

その他にも、各町内会などによっていろいろな取り組みが行われています。

町内会活動をより充実したものにするためには、皆さんのご協力が必要不可欠です。加入方法など、お気軽にご相談ください。

《お問合せ先》

登別市連合町内会

住所：登別市中央町6丁目11

登別市役所 市民協働グループ内

電話：0143-84-11079

デイサービスセンターのご利用はいかがですか？

登別市社協デイサービスセンターでは、要介護認定、要支援認定を受けた方に、お一人おひとりのニーズに合わせた介護サービスを提供し、住み慣れた地域で、自分らしく生活を送るお手伝いをしています。

○営業日

月曜日～土曜日（日曜日、年末年始を除く）

○サービス提供時間

9：30～16：45（要介護認定の方）
11：15～16：45（要支援認定の方）

○サービス内容

専用車両での送迎、栄養バランスの良い食事の提供、入浴や排せつ等の介護、レクリエーションや機能訓練指導員による個別機能訓練などをを行います。



毎年、保育所との交流も行っています。ご利用される方は皆さん心待ちにしているイベントです。

見学のほか、1日体験利用も行ってありますので、お気軽に在宅福祉課（85-0101）までお問い合わせください。



最新の介護入浴装置を導入しました

食 事…栄養士の献立による、栄養状態・疾患に応じた食事を提供します。
入 浴…充実した設備でお身体の状態に応じて快適に入浴することができます。
一般入浴…安心して入浴いただける手すりついた大浴場です。歩行に不安のある方は入浴用リフトで安全に入浴できます。
介護入浴…重度の障がいがある方も、座ったまま楽な姿勢で入浴することができます。
リハビリ入浴…自宅で安全に入浴できるよう、家庭サイズの個別浴槽を使ったりリハビリを提供します。

社協寄付金（平成28年8月1日～9月30日）

（敬称略／単位：円）

| 受領年月日 | 寄付者名 | 寄付の目的 | 寄付金額 |
|----------|------------------------------|--|--------|
| 28.08.01 | 北海道軟式野球連盟 室蘭支部 | テント1張借用のお礼の意を込めて社会福祉のために | 10,000 |
| 28.08.09 | マックスバリュ北海道株式会社 マックスバリュ登別店 | 黄色いレシートキャンペーンで集まった社協配分を本会へ寄付 | 30,600 |
| 28.08.12 | 匿名 | 会議の費用弁償を社会福祉のために | 920 |
| 28.08.22 | 株式会社 伊藤電機商会 | 愛の小箱 | 3,803 |
| 28.08.23 | 石坂 光汰朗 | 社会福祉のために | 1,560 |
| 28.08.23 | 匿名 | 会議の費用弁償を社会福祉のために | 1,240 |
| 28.08.23 | 河上 良枝 | ファミリーサポートセンター学習会の講師謝金を社会福祉のために | 2,694 |
| 28.08.31 | 協同組合登別中央ショッピングセンター | 愛の小箱(ガチャガチャ) | 3,000 |
| 28.09.11 | 鷲別エリア歌謡交流会 実行委員会 | 「チャレンジ歌謡交流会」の益金の一部を社会福祉のために | 20,000 |
| 28.09.07 | 本間 豊治 | 地域活動支援センター利用の感謝の意を込めて | 5,000 |
| 28.09.09 | 温泉旅館いわた | 愛の小箱 | 1,809 |
| 28.09.13 | 高橋 政幸 | ふれあいフェスティバルでの地域活動支援センター作品展示において陶芸作品の売上げ金の全額を社会福祉のために | 7,900 |
| 28.09.24 | 登別ライオンズクラブ | 秋のチャリティダンスパーティー益金の一部を社会福祉のために | 30,000 |
| 28.09.26 | 協同組合登別中央ショッピングセンター | 愛の小箱(ガチャガチャ) | 4,700 |
| 28.09.28 | いずみ亭 | 愛の小箱 | 23,537 |

5つのアイテムで安心を守る

小地域ネットワーク活動 全市展開に向け推進中!

平成24年の暴風雪による大規模停電を教訓に、昨年度、連合町内会・民生委員児童委員協議会・市・社協の4者合意のもとリニューアルした「小地域ネットワーク活動」が市内で広まりを見せています。

昨年度は51町内会において取り組まれ、3,610件の配布がされており、今年度から新たに7町内会が活動に取り組んでいます。

■活動のしくみ

この活動は、町内会の主体による「きずなづくり台帳」及び「きずな安心キット」を配布・活用してもらうことでの災害や緊急時を意識した日頃からの地域の支え合い・見守り体制を構築するものです。

きずなづくり台帳に記入された情報は、同意をいただいたうえで、地域の世帯把握や見守り・支え合い活動に活用されるほか、市が作成する「避難行動要支援者名簿」にも登録されます。

■日頃の活動をより充実したものに

キットを活用することにより、定期的な訪問のきっかけづくりなど地域の支え合い活動が行いやすくなることも、民生委員・児童委員や地域包括支援センター等の福祉関係者と日頃から情報を共有する体制をつくり、多くのつながりをもつことで、さらに充実した支援ができるようになります。

これまでよりも地域のつながりを強くすることにより、支援を必要とする人を、地域住民と福祉関係者が一丸となって見守る体制づくりを目指します。

■全市展開に向けて

今後とも登別市社協では地域の皆様のご理解とご協力を得ながら全市展開に向けて活動を推進してまいります。個別の説明会を実施することもできますので、活動に関心のある方につきましては、地域福祉課（8-08860）までご連絡ください。



町内会の声



登別3丁目町内会
会長
稲葉 雅幸さん

町内会としても、これまで福祉票の配布等は行っていました。配って終わりという活動になりがちでしたが、支援を必要としている方の把握にもっと力をいれていきたいと思いい、今回の活動に申し込みました。震災や大規模停電、台風の被害など大きな災害というものが身近になってきており、よりきめ細かい地域福祉活動が求められます。今後とも関係機関ともっと連携を図り、きちんと理解してもらいながら活動を少しずつ地域の中で広めていきたいと考えています。



▲常盤町内会での配布時の様子